

2025年度 補助金 研究開発テーマ

4件名が MarketIn 件名です。

既存の事業とは異なる、新市場・高付加価値事業への進出にかかる設備投資等を支援します

—— たとえば、こんな時に

- 活用イメージ例：機械加工業でのノウハウを活かして、新たに半導体製造装置部品の製造に挑戦
- 活用イメージ例：医療機器製造の技術を活かして蒸留所を建設し、ウイスキー製造業に進出

費用概算 思惑

• 専用のNVIDIAサーバー開発・運用マシン	1,000万円
• 開発のための専用ソフトウェア	?
• 各研究室の知財の購入	300x5=1,500万円
• その他必要設備	300万円
• 外注費用 (各大学研究室へ)	2,000万円
	合計 4,800->5,000万円

1 もの補助 補助金テーマ

DynaxT商品マーケティング戦略2025

(1) 商品のカタログ（A3見開き）をユーザー目線で作成する。つまりユーザーのコストカット、業務効率の向上、業務のQCRDの向上等。ストーリーで語る。価格帯、顧客セグメント、商品の特許性など。

商品の詳細マニュアルの作成

(2) 営業の足の強化：学会などの発表とブース出展

医療情報学会、AI研究会、日本数学検定協会、デジタル教材研究会、数学教育研究会、教育委員会共同研究、情報処理学会、地質学会など

(3) YouTubeチャンネルの開設と定期的発信

DynaAI、DynaMeasure, DynaMedical、DynaEducation（MathPub＋AIStream）
製品の動画作成発表。

DynaxT求人広告

著名人による「時事ネタ」「BBモフランチャンネル（音楽と音楽療法）」、「芸術の森」、「自然農法と健康」、「健康と医療」・・・

(4) 説明訪問の担当の決定

2 新事業進出補助金テーマ

<https://mirasapo-plus.go.jp/subsidy/>

既存の事業とは異なる、新市場・高付加価値事業への進出にかかる設備投資等を支援します

—— たとえば、こんな時に

- 活用イメージ例：機械加工業でのノウハウを活かして、新たに半導体製造装置部品の製造に挑戦
- 活用イメージ例：医療機器製造の技術を活かして蒸留所を建設し、ウイスキー製造業に進出

(1)生成AIを活用した双方向会話ができるチャットボットの活用

最近の生成AIの発達によってかなり自然な人間的な会話ができる、技術的な環境が整っている。これを利用した社会的なサービスが色々できてきています。

(1) 常識を保つ、オープンダイアログ精神療法に役にたつ、

談笑システムとディベーターティングシステム

各国語練習システムにも使える。

(2) 専門知識説明と専門知識問合せシステム

商品説明チャットボット＋操作問合せ説明チャットボット

(3) おしゃべりできる癒しのロボット

顔識別AI、顔表情認証AI、

(1)テーマ目次 介護とオープンダイアログ治療→MarketINN案件

(1) 介護や癒し及びオープンダイアログによる癒しと常識維持分野

介護や癒しは対人関係の談話が機能する。また精神治療（常識を保つ）は孤独な状況の患者がグループの談話に参加することで心が救われる。この方法をオープンダイアログという。精神異常や常識の喪失は「談話のない孤独な環境」から生まれることがわかっています。この治療には抗精神剤では回復しないことが明らかになっている。また「常識」の定義は難しく人は常識（極端な意見を言わない）を保つのは他人との談話で保っていると言われている。このために複数の人とチャットボットによって談話ができるサービスを提供する。

- 必要設備 NVIDIAサーバーマシンと人工知能エンジン
- 外注 早稲田の澤田研究室
 外注した知見（特許）を購入

▪ 顧客対象

BtoB 介護施設や老人ホーム

B to C 独居老人や引きこもり青年



(1)精神的な癒しと常識力維持とオープンダイアログ治療の提供のための談話サービス 「人工知能 談笑システム」

ステップ3-2
もう一度ステップ2から

順番にやる

音声認識と発話システムを使用
チャットボット数と終了条件や言語種類等々設定と談笑テーマを設定する。

ステップ1
談笑のテーマを生成AIにプロンプトとして投げる。チャットボット毎に多少変化をつける。

ステップ2
人間またはチャットボットがテーマについて順次発言する。発言のキーワードを記憶する。

ステップ3
それぞれの発言のキーワードから新しいテーマを作成する。

終了か？
いいえ

討論のまとめをする？
はい
(判断)

ステップ5
テーマと発言集からまとめを生成AIに投げて、まとめ文章を作成する。
発表
談笑の内容で、人の会話能力や精神状態を測る参考にする。

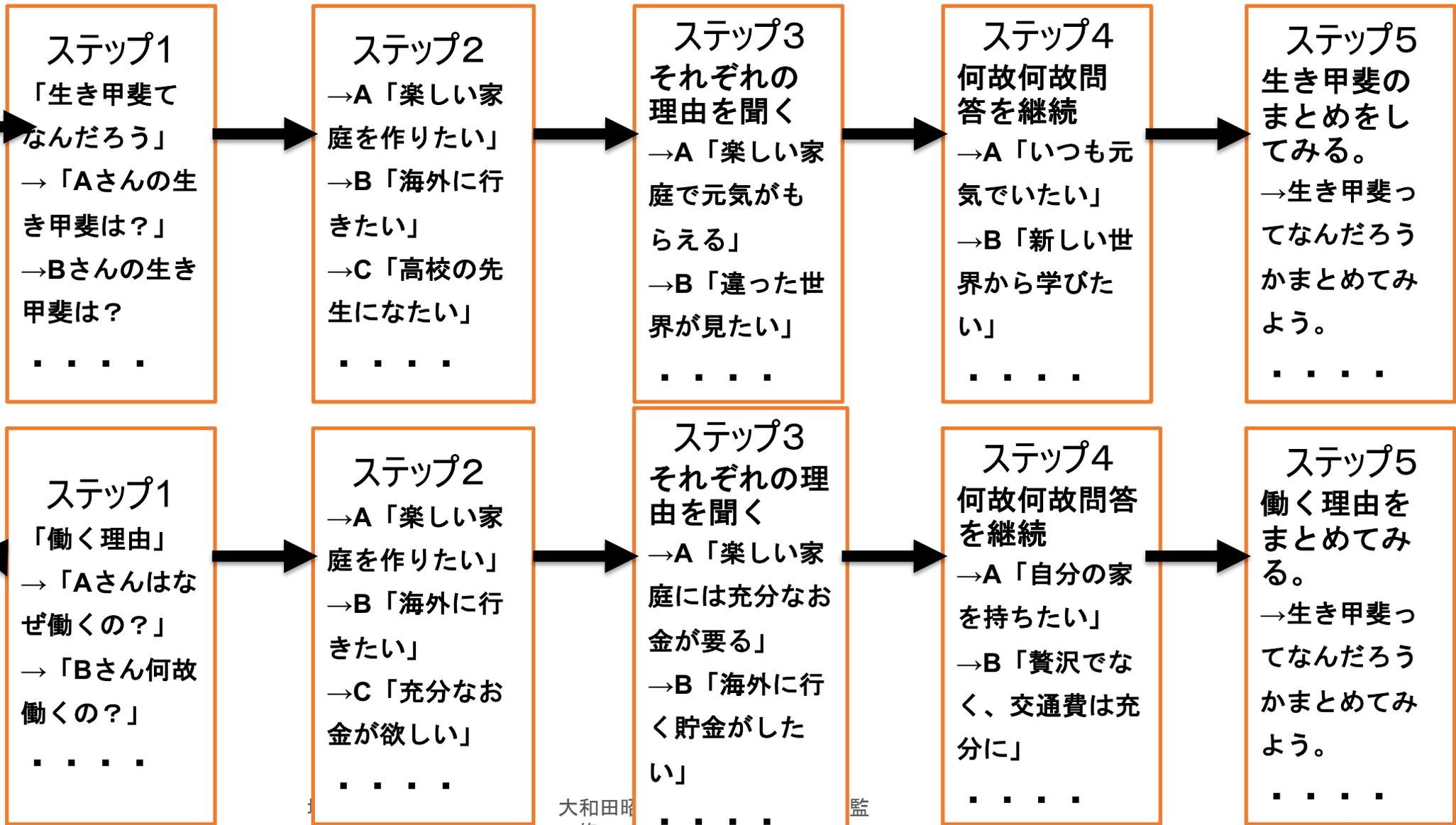
テーマを深掘りしながら、討論を進めるよ。

さらに進歩→もう1回ステップ1~5

(1)談笑 (ディベーターティング) の例

A,B,Cは生成AIチャットボットでD,Eは人間

音声認識と発話システムを使用
チャットボット数と終了条件や言語種類等々設定と談笑テーマを設定する。



(2) 各種知識や情報問合せチャットボット

- 必要設備 DynaAI 完全なプライベート空間（組織内イントラネット）
NVIDIAサーバーマシンと人工知能エンジン
各専門知識や部門情報をRAGまたはDBに持たせる。

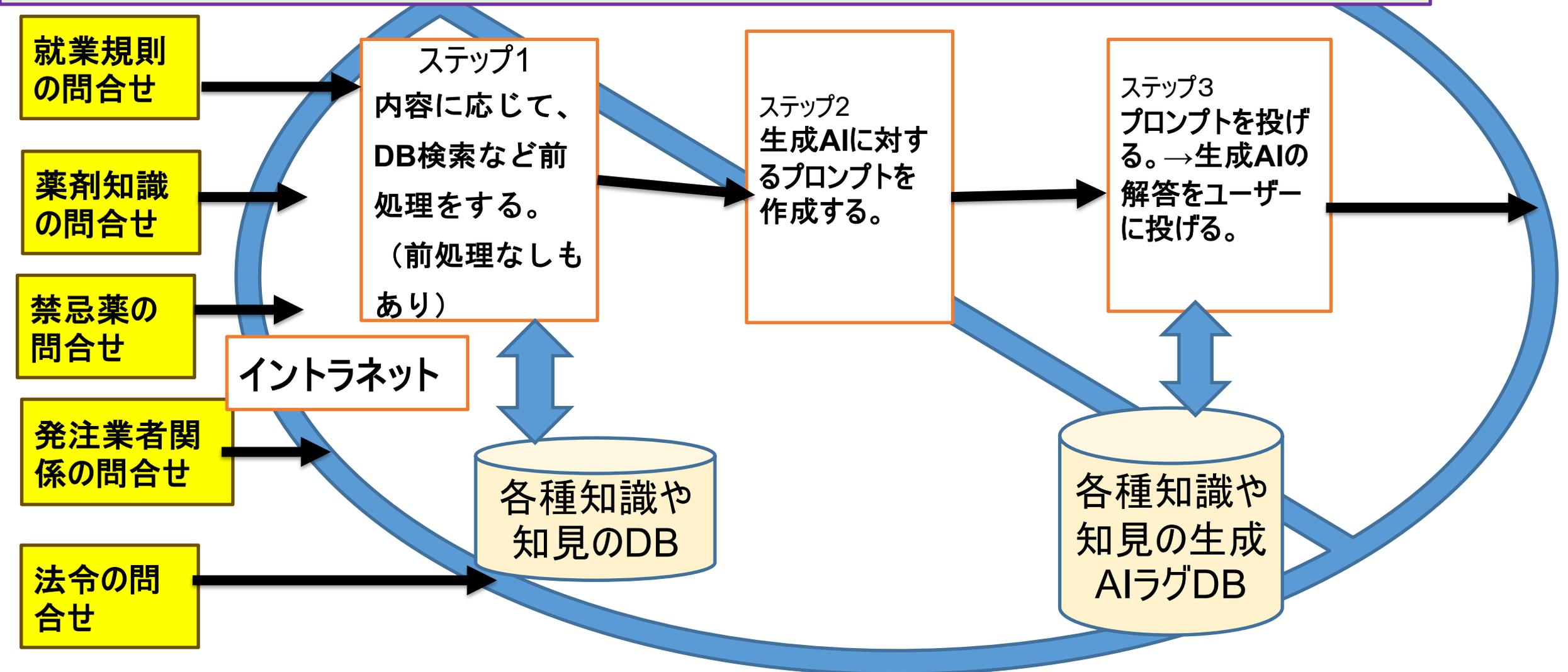
機能 会話方または文字入出力で専門知識（商品内容、技術技能情報、組織内ルールや規定、法的知識・・・）をAIチャットボットで問合せが簡単にできる。部門間に渡る知識共有もできる。

客対象（組織職員）

- BtoB 企業や学校や病院や官庁



(2) 専門知識知見の問合せチャットボット 商品の詳細説明、商品取扱問合せ説明、その他専門的な知識説明



テーマ目次 見守りや癒しの動くロボット

(1) 介護と癒し、および独居老人と子供のお相手ロボット

人型とか犬とか親しいやすい、身体の柔らかい歩くロボットに視覚を与える。そして（覚えた画像を追尾する機能）と（顔色で健康情報と喜怒哀楽情報を判断する機能）を持たせる。連続した会話（言語を選べる）ができるようにする。必要に応じて得た情報を家族または管理する人や組織や遠距離の家族に取得された会話情報を送信する。癒しになる音楽や歌を提供できる機能を持たせる。

- 必要設備 NVIDIAサーバーマシンと人工知能エンジン
 人型とか犬とか親しいやすい、歩くロボット
- 外注 早稲田の澤田研究室 or 香川大学の研究室
- パテント 顔色で健康情報と喜怒哀楽情報を判断する機能その他
- 顧客対象 （独居老人、子供 オープンダイアログ法による常識の維持）
 - BtoC 独居老人や引きこもりの人々
 - BtoB 介護施設、引きこもりや精神弱者の擁護や社会復帰の施設



癒しと見守りロボット
歩行ロボットと会話システムと顔
表情認証と健康状態判断視覚シス
テム搭載

ステップ3-2
もう一度ステップ2から
順番にやる

音声認識と
発話システ
ムを使用
チャットボット
と終了条件
や通信情報
や
言語種類
設定

ステップ1
人が話しかけたテー
マの内容に従う。カ
レンダー季節と時刻
に応じて、会話のテ
ーマ内容を決める。

ステップ2
人間または顔
色を判断でき
るロボット表情
を参考にしてテ
ーマについて発
言する。

ステップ3
それぞれの発
言のキーワード
から新しいテー
マを作成する

いいえ
終了
か？

はい
(判断)
討論の
まとめを
する？

ステップ5
テーマと発言集か
らまとめを生成AI
に投げて、まとめ
文章を作成する。

発表
会話記録から独居
老人や介護対象の
患者の状況を判断
してメール報告と
DBに記録する。

テーマを深掘りしながら、会話を進めるよ。

さらに進歩→もう1回ステップ1~5